

基調講演 概要

「つらい？こわい？わからない？—モヤモヤを語り合うジェンダーおしゃべり会—」



講師：清田 隆之 氏

（「桃山商事」代表）

文筆業、「桃山商事」代表。

ジェンダー、恋愛、人間関係、カルチャーなどをテーマに様々な媒体で執筆。

朝日新聞 be の人生相談「悩みのるつぽ」では回答者を務める。著書に『よかれと思ってやったのに』『さよなら、俺たち』『自慢話でも武勇伝でもない「一般男性」の話から見えた生きづらさと男らしさのこと』『おしゃべりから始める私たちのジェンダー入門』『戻れないけど、生きるのだ 男らしさのゆくえ』など。

女子美術大学非常勤講師。Podcast 番組「桃山商事」も定期更新中。

今回の基調講演は台風の影響により中止となりました。本稿では、講師、清田さんとの事前打合せ内容およびご提供いただいた資料をもとに、講演で予定していた内容の概要をご紹介します。

「男らしさ」「女らしさ」への違和感や、家事・育児の分担、パートナーや友人との関係など、私たちの日常には言葉にならないモヤモヤがたくさんあります。本講演では、そうした身近なモヤモヤを入り口に、清田さんの講演と参加者同士の「おしゃべり会」を通して、ジェンダーについて考える時間を予定していました。

ジェンダーとは生まれ持った性別ではなく、社会や文化の中で形づくられる価値観や役割意識のことです。近年は価値観の多様化が進み、「こうあるべき」という考え方も少しずつ見直されてきています。その一方で、日常生活の中では、いまだに多くの人が生きづらさや葛藤を抱えています。性別を問わず、仕事と家庭の両立、自分の時

間を持てないことへの悩み、周囲から求められる役割への戸惑いなど、それぞれの立場から見えるモヤモヤの背景には、社会的な課題も潜んでいるかもしれません。また、SNS やショート動画など、私たちが日常的に触れている情報の中にも、さまざまなジェンダー観が表れていることがあります。何気なく受け取っている言葉や表現が、私たちの価値観にどのような影響を与えているのでしょうか。

ジェンダーをめぐる課題に明確な正解はありません。だからこそ、自分とは異なる視点に耳を傾け、対話を通して考えを深めることが大切です。モヤモヤを共有し、お互いを知ることが、その先の一步を考えるきっかけになるかもしれません。

～清田さんよりメッセージ～

良いテーマでしたので、中止になってしまったのがとても残念です。
またぜひ一緒できる機会を楽しみにしております。

